

感染症対策と原発事故時の避難者受け入れに関する 質問・要望書

伊丹市長 藤原保幸 様

日頃は伊丹市民の安全のためにご尽力いただきありがとうございます。また、原発事故時の避難者受け入れ先として、多くの仕事を抱えられていることと思います。

8月27日に福井県で、全国で初めて、コロナ禍での原発事故を想定した防災訓練が実施されました。私たちは訓練を視察しました。別紙の「視察報告」[資料1]にまとめていますように、「3密を避ける」という感染症対策と、原発事故時の避難を両立させることはほとんど不可能だと実感しました。訓練では避難者はわずか30名という小規模なものでしたが、それでもバスは4台必要で、バスでの移動や避難所でも「密」をさける必要があります。30km圏内（UPZ）の住民が避難する事態になれば、バスや避難所が不足すること等は目に見えています。

今回は、8月の訓練の状況も紹介します。おおい町住民の受け入れ先として、コロナ禍での避難者受け入れが可能なのか、具体的にご検討ください。

福島原発事故から9年半が過ぎましたが、いまだ廃炉の目途もたたず、国も東京電力も事故の責任を認めようとはしません。住民はふるさとを奪われ、困難な生活を強いられています。原発事故を二度と繰り返さないためにも、とりわけ避難が困難なコロナ禍では、老朽原発（美浜3号、高浜1・2号）の再稼働をはじめ、事故などの問題が多発している原発の運転に反対を表明してください。

以下の質問と要望にご回答をお願いします。

1. コロナ禍での避難者受け入れについて

伊丹市は原発事故時には、おおい町の名田庄地区（約2,500名）と本郷地区（約2,000名）から、約4,500名の住民を受け入れることになっています。伊丹市の24か所の小中学校が避難所となっています[資料2]。

感染症が蔓延する状況での避難所について、福井県やおおい町はガイドライン[資料3]で、避難者スペースは一人4m²、前後左右に2m幅の通路を設けること等を定めています。

8月27日の福井県訓練では、避難所となった敦賀市のプラザ萬象小ホールは、通常座席数400名の部屋ですが、20数名の避難者スペースを確保するのがやっとでした。

感染症対策を考慮すれば、避難所の数を増やす必要があります。

(1) 8月27日の福井県防災訓練について、おおい町や福井県等から連絡はありましたか？

(2) 感染症対策を考慮した場合、現在の避難所24か所では足りないのではないのでしょうか？

(3) 新たに避難所を確保できるのでしょうか？

(4) 8月27日の福井県訓練では、「濃厚接触者」と「感染疑いありの者」は、一般の住民とは別室で、和室等を避難所としていました。避難所への入り口も、別のルートで和室に入るようになっていました。伊丹市で受け入れる場合も、これらを考慮する必要がありますが、検討

はされていますか？

(4)「濃厚接触者」と「感染疑いありの者」は、食事やトレイも一般住民とは別になります。そのような準備は可能でしょうか？

(5) 以上の点だけからでも、コロナ禍に原発事故避難者を受け入れるのは困難ではないでしょうか？

2. 拭き取りだけの除染について

伊丹市が受け入れる名田庄地区住民のスクリーニング場所は、京都府南丹市美山町の美山長谷運動広場です。ここでの除染は、流水除染ではなく、タイヤとワイパー部分のふき取りだけです。これでは伊丹市に汚染が拡大する恐れがあり、2018年12月26日に伊丹市に申し入れた際には、「伊丹市は絶対に大丈夫という車と人を受け入れることになっている」「拭き取り除染を変える方法はないのか、おおい町・福井県・兵庫県に確認する」と回答されました。伊丹市議会でも議論になり、伊丹市からおおい町に要請もされました。

おおい町は、昨年7月25日の私たちの申入れ時に、伊丹市や川西市から連絡があり、「拭き取り除染は懸念している。同様に課題を認識しており、福井県に文書で伝えた。内閣府・福井県等で検討される」との回答でした。

(1) それ以降、おおい町や福井県等から、拭き取りだけの除染について、改善策等は示されていますか？

要 望 事 項

1. コロナ禍で原発事故避難者を受け入れることは非常に困難です。感染症対策と原発防災について、避難元のおおい町や福井県、兵庫県等と、避難所の数、バスの数等具体的に協議してください。

2. コロナ禍での受け入れは困難なため、少なくともコロナ禍では原発の運転を止めるように表明してください。事故が頻発している高浜3号や大飯3号、そして、とりわけ40年越えの老朽原発（美浜3号、高浜1・2号）の再稼働に反対を表明してください。

資料1：8月27日福井県防災訓練の視察報告

http://www.jca.apc.org/mihama/bousai/kunren_rep_syosai20200827.pdf

資料2：「原子力災害時における住民避難計画」おおい町より 24・25頁

http://www.town.ohi.fukui.jp/bousai/6600/p13360_d/fil/0000000199_0000007565.pdf

資料3：「原子力災害における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン（第1版）」5頁

http://www.town.ohi.fukui.jp/1001/1206/40/p20231_d/fil/1.pdf

2020年10月12日

避難計画を案ずる関西連絡会

連絡先団体：グリーン・アクション/ 原発なしで暮らしたい丹波の会/

脱原発はりまアクション/ 原発防災を考える兵庫の会/ 美浜の会/ 避難計画を考える滋賀の会

この件の連絡先：美浜の会：大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL:06-6367-6580 FAX:06-6367-6581

